

## 高齢者大学における参加者の学習動機と自我同一性に関する研究

### The research of the relationship between study motivation and self-identity in the participants from college of continuing education for senior citizens

LI YUANNING (Ri, Ennei) 指導：西村 昭治

#### 【研究背景と目的】

社会の現代化が進行し、寿命の延長とともに高齢者人口の増加や、科学技術の進歩、産業構造の変化、個人の余暇時間の増大などの急激な変化がおり、学校を卒業し、退職した高齢者が社会の変化に適応しにくくなった。このような状況を乗り越えるため、伝統的な学校教育の拡大は必要と考えられ、多様な教育機会が提供されなければならないのである。

高齢化社会が深化し、高齢者の割合が徐々に増えている社会的現実の中で、定年退職後の高齢者たちに対しては、個人の役割の変化をどのように成し遂げるかが重要である。

本研究では、中国現代社会における生涯教育の一環として存在する高齢者大学に着目し、中国高齢者大学に通っている高齢者の学習参加動機の特徴および学習参加動機に影響を与える要因を検討しようとする。さらに、高齢者社会における退職した高齢者の自我同一性を再構築問題に対して高齢者大学の役割を検討する。

#### 【研究方法】

1. 調査対象者：本研究は、中国中西部における中心都市の西安市の高齢者大学に短期制、一年制あるいは高齢者大学にて継続的な学習活動を行い、在籍している参加者を対象者とした。
2. 調査方法：無記名のアンケート調査とし、高齢者大学授業の開始時、クラスごとに担当者への調査票配布を依頼し、調査票の配布を行った。記入された調査票は一週間後に同じクラスで授業終了時に回収した。調査期間は、2021年11月26日から12月10日までであった。
3. 分析方法：高齢者大学に通っている対象者についての実態を把握するために、以下の分析を行った。1 [記述統計] ...基本属性の特徴 2 [因子分析] ...学習参加動機に関する項目と自我同一性に関する項目 3 [T検定と一元配置分散分析] ...基本属性の特徴 4 [相関分析] ...基本属性と自我同一性、また生涯参加への積極性と継続性と学習参加動機との群間の相関関係 5 [重回帰分析] 基本属性、自我同一性また生涯参加への積極性と継続性と学習参加動機と関連性を検討する。

#### 【結果と考察】

学習参加動機分析では、高齢者の教育参加動機を「日常

生活からの解放」「地域社会との交流」「知識の獲得」「QOLの向上」4つの側面に分けられ、高齢者の学習動機をより詳しく把握することができる。

高齢者の教育参加動機は、高齢者の基本属性との間に関連性があることを見出した。とくに性別、年齢、世帯構成、最終学歴、高齢者大学に教育参加頻度と年数との間に関連性があり、有意性があることが分かった。

また、高齢者の教育参加動機は自我同一性との間に、教育参加動機における「日常生活からの解放」「地域社会との交流」「知識の獲得」「QOLの向上」などが自我同一性と関連していたことが分かった。

最後に、学習参加動機と生涯学習参加への積極性と持続性との関連性を見られた。学習参加への積極性が高いほど、「日常生活からの解放」、「地域社会との交流」、「知識の獲得」、「QOLの向上」に関する学習参加動機が求める傾向がみられる一方、学習参加への継続意志が高いほど、「知識の獲得」、「QOLの向上」に関する学習参加動機が求める傾向がみられた。

#### 【まとめ】

本研究では、高齢者大学に通っている高齢者を対象とした調査により、このグループにおける学習参加動機を明らかにし、学習参加動機に影響を与える要因について分析し、高齢者社会における退職した高齢者の自我同一性再構築問題に対して高齢者大学の役割を検討した。しかし、研究過程における研究参加者数の格差と不安定さは、データ分析の結果に影響を及ぼしたと考えられる。今後は、比較的安定した期間でのデータ収集が重要である一方、回収したデータを極端な傾向を避けることも重要である。

そして、高齢者教育における男女のアンバランスは世界的な問題であり、参加者の性別がアンバランスことは、生涯学習教育における潜在的な落とし穴である。定年退職した男性の社会活動や生涯学習活動に関する研究データが不足していることで、システムとしての生涯教育に悪い影響を与えると予想できる。男性高齢者の社会参加と学習参加をより促進させ、生涯教育がもたらす変化をすべての高齢者が享受できるようにする研究が求められる。